

ソニー銀行様

すべてのお客さまに対してコンピューター・ウイルスによる不正送金の脅威から保護し、新たな攻撃に迅速に対応可能なソリューションを選択



左：システム企画部長 福嶋 達也氏
右：システム企画部 マネージャー 隅本 修一郎氏

 **MONEYKit**
<http://moneykit.net/>

導入企業：ソニー銀行株式会社
設立：2001年4月2日
資本金：310億円
本社所在地：東京都千代田区神田錦町3丁目26番地
事業内容：銀行業

導入製品：
金融向け不正送金対策ソリューション
PhishWall クライアントレス
導入期間：3カ月

2001年設立のインターネット銀行であるソニー銀行（サービスサイト：MONEYKit）は、常にセキュリティを重要課題に置き、社会情勢に合わせたセキュリティ対策を行ってきた。近年被害が拡大する不正送金対策として、2015年1月、顧客のPCのウイルス感染による画面の改ざんをサーバー側で検知する「PhishWall クライアントレス」のサービスが開始された。導入・運用についてソニー銀行株式会社 システム企画部長 福嶋 達也氏とシステム企画部マネージャー 隅本 修一郎氏に話を伺った。

さまざまなセキュリティ施策を検討・実施する中で不正送金対策製品のリサーチを開始

ソニー銀行における、これまでのセキュリティ対策の取り組みについて

福嶋氏：EVSSL証明書やフィッシングサイトを閉鎖させるサービス、ワンタイム・パスワードなどその時々で世の中で起こっている事案を踏まえ、つど検討を行ってきました。また昨年は、セキュリティに関する当社の取り組みや、お客さまの口座を守るために実施いただきたいセキュリティ対応に関するコンテンツ掲載なども行ってきました。そのような中、国内においても不正送金の被害が深刻化しつつあったため、対策製品のリサーチを開始しました。検討を始めたものの、不正送金対策製品はソフトウェアインストール型の製品が多く、なかなかお客さまにご利用いただけない現状があります。また、インストール型ではない製品もあったのですが、海外製品ということもあり、国内の金融機関をターゲットにした攻撃に対応できるのか疑問視していました。

そこで、お客さま側でソフトウェアのインストールが不要で、国内ベンダーであるセキュアブレインの「PhishWall クライアントレス」を検討することになりました。

すべてのお客さまを保護でき、国内情勢に対応できることが決め手に

PhishWall クライアントレス採用決定のポイントについて

福嶋氏：ソニー銀行はインターネット銀行であるため、店舗を有する銀行とは異なり、何か問題があった際に取り引きを店頭の受け付けに限定するという選択肢がありませんので、Webサイトのセキュリティを強化することは経営の重要課題に位置づけられています。そのため、すべてのお客さまに対し適応できるソリューションであるという点が重要でした。セキュアブレインは国内の金融機関の導入実績が多数あり、警視庁などとも連携し国内の情勢に応じた対応が期待できること、また費用対効果が高い点も採用する決め手となりました。



攻撃情報を迅速にフィードバックし、セキュリティレベルをアップ



システム企画部 マネージャー 隅本 修一郎氏口

導入・運用について

隅本氏：実際のコンピューター・ウイルスを想定したペネトレーションテストを行うことで製品の実効性を評価しました。通常、コアとなる技術を明らかにするような評価分析は難しいと思いますが、セキュアブレインが協力的であったため、3カ月という期間の中で製品評価も含めて導入することができました。また、国内で新しい攻撃が発生したときには、迅速な対応が必要ですが、日々収集した攻撃の情報をフィードバックし、検知精度を上げることで継続的な機能改善を行っていただいています。さらに取り引きのセキュリティレベルを上げるようなプラスαの提案もしていただいている点も評価しています。

技術とコスト面を含めたバランスのよい製品に期待



システム企画部長 福嶋 達也氏

今後セキュアブレインに期待する点について

福嶋氏：実際に世の中で起こっていることと、企業のニーズをしっかりと捉えて、新しい製品を生み出していただきたい。技術的に優れていても企業がコストを払えず利用できないのでは、絵に描いた餅となります。一方で安価であってもセキュリティのトレンドに見合っていないものでは意味がありません。技術とコストのバランスがとれた製品を継続的に出していただくことをこれからも期待しています。

※本導入事例の記載内容は、2015年4月現在のものです。
 ※株式会社セキュアブレインは、2024年4月に株式会社日立システムズと合併しました。

PhishWallクライアントレス 構成図

